



おいしいたの園芸

令和5年3月 大分県園芸活性化協議会

〈九州における大分県園芸の位置づけ〉

令和3年産

	野 菜			果 樹			花 き		
	産出額(億円)	割合	順位	産出額(億円)	割合	順位	産出額(億円)	割合	順位
福岡県	681	14%	4	257	19%	2	165	27%	1
佐賀県	314	7%	7	204	15%	3	35	6%	7
長崎県	593	12%	5	151	11%	4	73	12%	4
熊本県	1,247	26%	1	362	27%	1	94	16%	3
宮崎県	721	15%	3	130	10%	6	69	11%	5
鹿児島県	846	18%	2	105	8%	7	118	20%	2
大分県	353	7%	6	140	10%	5	47	8%	6
九州全県	4,755	100%		1,349	100%		601	100%	
全 国	23,830			9,159			3,306		

(野菜にはいも類含む)

データ：令和3年生産農業所得統計

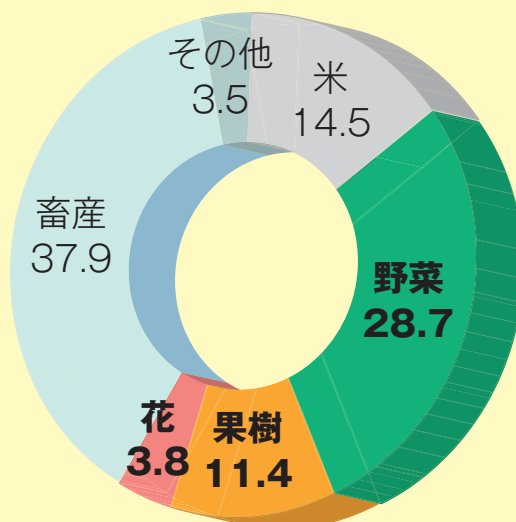
〈大分県農業における園芸の位置づけ〉

区 分	産出額(億円)	割合
米	178	14.5%
麦類	4	0.3%
雑穀・豆類	3	0.2%
野菜	353	28.7%
果樹	140	11.4%
花き	47	3.8%
園芸合計	540	44.0%
工芸農作物	20	1.6%
種苗・苗木類	9	0.7%
畜産	465	37.9%
加工農産物	9	0.7%
合計	1,228	100%

(野菜にはいも類含む)

データ：令和3年生産農業所得統計

大分県の令和3年農業産出額は、1,228億円となっておりうち園芸部門が540億円、全体の44%を占めている。



県農業産出額に占める品目割合(%)令和3年

野菜

Vegetable

品目別野菜産出額ベスト10

令和3年産

順位	品目	産出額(億円)	面積(ha)	主な市町村
1	ねぎ	71	983	豊後高田市、宇佐市、中津市、竹田市、豊後大野市、九重町、国東市
2	いちご	36	66	杵築市、佐伯市、宇佐市、大分市、臼杵市、豊後高田市、由布市
3	トマト	30	185	竹田市、九重町、玖珠町、由布市、臼杵市、国東市、佐伯市
4	ピーマン	29	126	臼杵市、豊後大野市、竹田市、玖珠町、大分市、佐伯市、日田市
5	かんしょ	19	378	豊後大野市、臼杵市、国東市
6	おおば	15	24	大分市、豊後大野市、日田市
7	にら	14	59	大分市、臼杵市、佐伯市、由布市
8	キャベツ	11	506	竹田市、豊後大野市、中津市
9	はくさい	9	410	日田市、竹田市、中津市
10	だいこん	8	362	竹田市、臼杵市、豊後大野市

※一部園芸振興課調べ

ねぎ100億円産地の育成

西日本1位の生産量を誇るねぎの産出額100億円達成に向け、更なる産地拡大を進めます。平坦地域の水田を畑地化して大規模経営体を育成するとともに、中山間地における複合品目として白ねぎ生産者の確保・育成を図ります。また、こねぎの新規栽培者の収益性向上を進めます。



夏秋ピーマン産地の拡大に向けた体制強化

夏秋ピーマン産地では毎年新規就農者を受け入れ、次代の担い手確保・産地拡大が進んでいます。全国2位の生産量を目指し、面積拡大に向けて施設・設備等の導入に支援を集中します。

また、ウイルス病対策を産地一丸となって徹底していきます。



市場ニーズに応える高糖度かんしょの産地拡大

高品質なかんしょとしてブランド化が進む「甘太くん」は、豊後大野・野津が産地となっています。産地拡大に向け、葉たばこからの転換を進めるとともに、機械化体系の整備やウイルスフリー苗増殖・選果施設の整備に取り組めます。一方、全国的に問題となっているサツマイモ基腐病の侵入防止対策を進めます。



「ベリーツ」の生産拡大

大分県オリジナルのいちご品種「ベリーツ」の生産拡大とブランド確立に向け、高収益モデルの育成や環境制御技術の活用に取り組んでいます。「ベリーツ」の特徴である早生性や着色性、評価の高い食味を活かし、高単価時期の収量向上による収益性の高い産地づくりを目指します。



品目別果樹産出額ベスト10

面積は栽培面積：令和3年産

順位	品目	産出額(億円)	面積(ha)	主な市町村
1	日本なし	30	349	日田市、中津市、由布市、日出町、九重町
2	ぶどう	24	279	宇佐市、日田市、中津市
3	かぼす	20	537	竹田市、臼杵市、豊後大野市、豊後高田市、国東市
4	露地みかん	19	636	杵築市、津久見市、国東市、大分市、日出町
5	ハウスみかん	15	31	杵築市、国東市、日出町、佐伯市
6	不知火	5	70	佐伯市、津久見市、杵築市
7	うめ	4	248	日田市、杵築市、国東市
8	ぎんなん	3	201	九重町、豊後高田市、日出町、宇佐市
9	ゆず	3	143	宇佐市、日田市、杵築市
10	キウイ	2	53	国東市、大分市、臼杵市、杵築市

※一部園芸振興課調べ

日田梨創造的復興プロジェクト

平成29年7月の九州北部豪雨で被災した日田地域では、梨園地の集団移転に向け、3地区で4haの団地造成が完了しました。入江地区では水田畑地化に取り組むなど、新たな産地モデルの創造に向けた取組を開始しています。



梨団地造成

基盤整備事業を活用した果樹団地の造成

佐伯市、宇佐市、津久見市などで基盤整備事業を活用して、新たな果樹園の造成や荒廃した樹園地の再生の取組を行っています。新規就農者や企業参入など大規模経営体の育成に取り組んでいます。



ファーマーズスクールなどによる担い手の確保・育成

佐伯市、杵築市、由布市、豊後高田市、中津市、日田市、津久見市、宇佐市などで就農学校やファーマーズスクールが設置され、新規就農者の確保・育成が図られています。

新規就農者の受け皿として、優良果樹園地の継承や大苗の活用などによる未収益期間の短縮を図っています。



県オリジナル品種の推進

これまで、梨品種「豊里」及び柑橘品種「ゼリーオレンジサンセלב」等の産地拡大が進んでいます。

今後は品種登録された、種なしかぼすの新品種「大分果研6号」やワイン用ぶどうの普及を目指します。



「大分果研6号」



県オリジナルワイン用ぶどう品種の開発

品目別花き産出額ベスト10

令和3年産

順位	品目	産出額(億円)	面積(ha)	主な市町村
1	輪ギク	10	56	豊後大野市、佐伯市、杵築市、国東市、竹田市
2	鉢物	8	8	九重町、由布市、玖珠町、大分市、臼杵市、佐伯市
3	花壇用苗物	3	11	佐伯市、豊後高田市、豊後大野市
4	スイートピー	2	6	豊後大野市、佐伯市、豊後高田市、杵築市
5	ホオズキ	3	15	佐伯市、杵築市、豊後高田市、大分市、宇佐市、日田市
6	スプレーギク	3	16	豊後大野市、竹田市、佐伯市
7	トルコギキョウ	2	6	杵築市、佐伯市、別府市、竹田市、日田市、玖珠町
8	アルストロメリア	2	4	竹田市、宇佐市、佐伯市
9	小ギク	2	18	大分市、竹田市、中津市、九重町、豊後大野市
10	バラ	1	3	九重町、国東市、日田市

※一部園芸振興課調べ

既存経営体の規模拡大による 産地競争力向上

「キク」では、これまでリース団地の整備により新規就農者の確保に努めてきました。平成20年以降「輪ギク」では合計9haの団地が建設されています。今後は若手生産者の規模拡大を重点的に支援し、「キク」の産地競争力の向上を図ります。



キクの大規模ハウス

担い手の確保と出荷先の 拡大による出荷安定

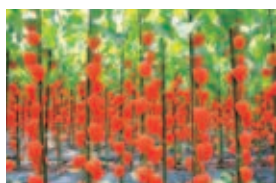
「スイートピー」では新規就農者の確保育成を図るとともに、単収向上に向けた系統選抜や栽培技術の確立に取り組んでいます。令和4年には約49万本を欧米・アジアに輸出するなど出荷先の拡大に取り組んでいます。



スイートピー栽培

主要産地としての 評価確立を目指す

「ホオズキ」は生産額日本一を誇る産地です。マーケットニーズに対応するため、多様な規格に合った栽培方法の普及や、新規就農者の確保による栽培面積拡大をすすめるながら、主要市場に対する責任産地として、さらなる品質向上に努めています。



出荷期をむかえたホオズキ

県オリジナル品目の推進で 生産者所得の拡大を目指す

大分県では、県育成のオリジナル品目「ヤマジノギク」を推進しています。

代替品目がないオンリーワンの品目として、生産者とともに作期の拡大と品質向上、生産量の拡大に取り組んでいます。



ヤマジノギク栽培

地域一体となった園芸産地づくり

これまで「園芸戦略品目への重点支援による産地化」を支援してきましたが、大分県農業総合戦略会議の議論を経て、生産者、農業団体、市町村など「地域が一体となって取り組む産地拡大」を支援する方向へと見直しを行いました。

1 産地拡大推進品目

「園芸産地づくり計画」に基づき、地域が一体となって長期的な産地拡大を目指す品目

2 短期集中県域支援品目

産地拡大推進品目の中から、県域・広域での加速的な産地拡大が見込める品目

3 地域担い手支援品目

意欲ある生産者が経営拡大に向けチャレンジする品目（品目の縛りなく支援）

■ 園芸産地づくり計画

地域特性を活かしマーケットニーズのある品目の産地拡大に向け、市町村が主体となり、地域が一体となって策定するものです。その計画に基づいた取組について重点的に支援を行います。

【策定主体】 市町村

【産地の規模】 産地戦略の策定範囲とし、原則市町村単位とする

【認定要件】 施設栽培：拡大50a以上、露地栽培：拡大2ha以上

【計画期間】 5カ年

【記載事項】 産地拡大計画（作付面積、販売額又は単収、販売戦略など）

※本計画の策定が、「産地拡大推進品目」の認定要件となっています。

■ 短期集中県域支援品目の目指す姿

生産者と農業団体等で策定する「行動計画」に基づき、苗供給から販売対策までの必要な部分を、期間を定めてパッケージで支援していきます。

(1) 認定品目：ねぎ類（白ねぎ、こねぎ）、ピーマン、高糖度かんしょ、ベリーツ

(2) 認定期間：R4年度～R6年度

■ 短期集中県域支援品目行動計画目標（栽培面積）

	現状（R3）	目標（R6）	拡大面積
白ねぎ	326ha	460ha	134ha
こねぎ	55.4ha	58.1ha	2.7ha
ピーマン	58ha	80ha	22ha
高糖度かんしょ	144ha	166ha	22ha
ベリーツ	15.3ha	23.0ha	7.7ha

白ねぎ・こねぎ

- ・徹底した土づくりなど単収と品質の向上
- ・労働力確保対策による産地拡大
- ・販売力強化による単価の安定

ピーマン

- ・夏秋産地全国2位となる販売量8,000tの達成
- ・共同利用施設等の環境整備による一層の産地拡大
- ・ブランド力のさらなる向上による単価の安定

高糖度かんしょ

- ・共同利用施設の早期整備による一層の産地拡大
- ・関西圏でのシェア拡大など販売戦略による単価向上

ベリーツ

- ・高単価時期（3月末まで）の単収3.5tの達成
- ・新規栽培者確保及び経営規模の拡大
- ・市場における存在感向上による単価の安定

大分県を 代表する園芸品目



野菜



ねぎ

白ねぎは豊後高田市・豊後大野市、こねぎは宇佐市・国東市を中心として栽培され、関西・関東地域まで出荷されている。

栽培面積983ha
(全国第4位)



夏秋トマト

夏秋トマトは、竹田市・九重町を中心とした夏季冷涼な地域特性を活かした西日本有数の産地であり、消費者に高い評価を得ている。

栽培面積154ha
(全国第17位)



夏秋ピーマン

夏秋ピーマンは、豊後大野市・臼杵市・竹田市を中心として栽培され、西日本一の産地であり、消費者に高い評価を得ている。

栽培面積123ha
(全国第3位)

果樹



ハウスみかん

杵築市を中心に栽培され、単価は常に全国上位をキープしている。県南から出荷される超早期型は日本一早い。

栽培面積31ha
(全国第3位)



なし

日田市を中心に栽培され「四季を通して日田の梨」のキャッチフレーズのもとほぼ周年供給が可能となっている。

栽培面積349ha
(全国第10位)



かぼす

臼杵市・竹田市を中心に栽培される大分県の代表品目で、全国一の生産量を誇る。

栽培面積537ha
(全国第1位)

花き



輪ギク

海岸地域から準高冷地まで標高差を活かした周年リレー出荷体系が確立されている。

栽培面積56ha
(全国第7位)



スイートピー

冬春花きの代表品目として市場からも高い評価を受けている。

栽培面積7ha
(全国第2位※R2産)

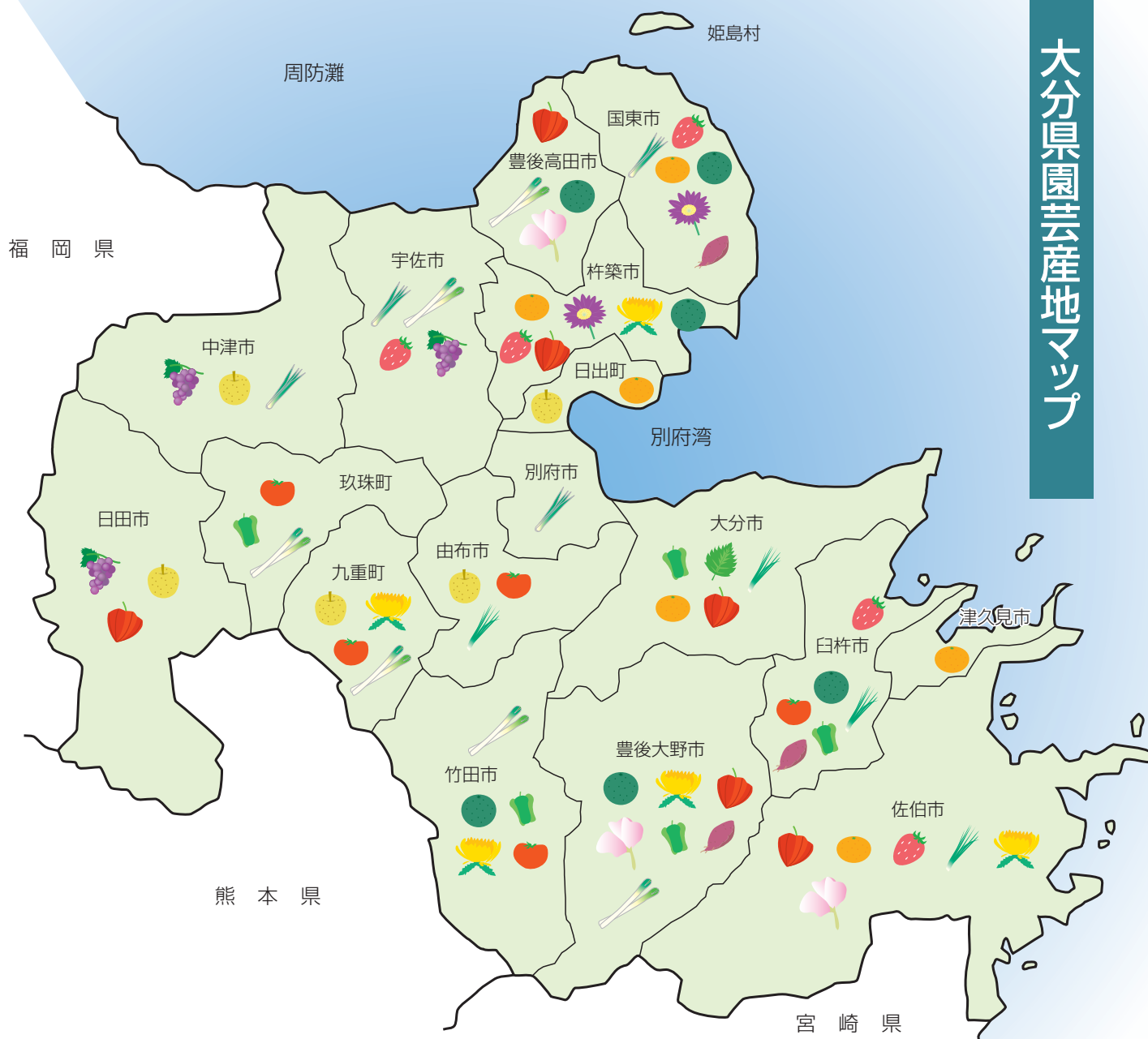


ホオズキ

佐伯市・杵築市を中心に栽培され、市場からの評価も高く、全国一の生産量を誇る。

栽培面積16ha
(全国第1位※R2産)

大分県園芸産地マップ



凡例

野菜

-  いちご
-  白ねぎ
-  トマト
-  こねぎ
-  おおば
-  ピーマン
-  にら
-  高糖度かんしょ

果樹

-  みかん
-  かぼす
-  ぶどう
-  なし

花き

-  キク
-  スイートピー
-  ホオズキ
-  ヤマジノギク